

様式 1		令和 4 年度 清瀬市立芝山小学校		学校評価計画	
学校の教育目標		公教育に携わる教職員としての職責を自覚し、一人一人が元気に輝き、確かな学力と豊かな心をもった自立する児童の育成を図るとともに、健康で安全な教育環境を整え、保護者・地域から信頼される学校づくりを目指す。		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	
目指す学校像（ビジョン）		【目指す学校像】子供の安全・安心を保障し、どの子にも居場所がある楽しい学校【安心】保護者が安心して我が子を預けられ、保護者・地域とコミュニケーションを大切に する学校【信頼】子供と共に学び、常にプラス思考で、教職員の専門性が発揮できる学校【充実】		●自ら課題を見付け、自ら課題を解決していく力＝自学力 ●他者とかがわる力＝かわり力 ●心身ともに健康に過ごす力＝健康力 ①生活科・総合的な学習の時間等における授業改善（校内研究の推進、SDGsと関連付けた取組） ②清瀬市との連携した取組（図書館使った調べるコンクールへの参加、石田波郷俳句大会への参加、あかちゃんプロジェクトの実施、認知症サポーター講座の実施） ③低・中学年の読み聞かせや図書館活動の充実等の全校読書活動の充実 ④特別支援教室（きりり教室）と担任との連携による特別支援教育の充実 ⑤全校縦割りグループを生かした学年交流の取組 ⑥学校支援本部を中核とした保護者・地域との連携と開かれた学校の推進	
目指す児童像		よく考え、それをやり抜く子 より明るく、みんなと仲良くできる子 そして強く、心身ともに健康な子			
目指す教師像		職責を自覚し、個に応じた手立てをもち、他者からの助言を謙虚に学び、協働する教師			
前年度までの学校経営上の成果と課題					
・言語能力の育成を図るための研究授業を行うとともに、読書の励行、俳句の創作、音読・暗誦による語彙力の向上、国語辞典の積極的活用など、言語活動の充実に取り組んできた結果、児童の言語への関心が高まり、理解力や表現力の向上が見られるようになってきた。 ・今年度は、昨年度の成果をもとに、言語能力の育成も生かし、生活科・総合的な学習の時間、各教科等を通して、自ら課題を見付け、自ら課題を解決していく児童の育成（自学力の向上）につながる授業改善の視点を明らかにしていく。					
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標（評価基準）	成果指標（評価基準）
確かな学力の向上	学ぶ意欲・達成感と確かな学力の向上 ○読み・書き・算の基礎的な学力の向上と全学年による共通実践 ○思考力・判断力・表現力を重視した授業改善 ○児童の学力に関する実態調査 ○学習規律・学習習慣の系統的指導 ○ALTの活用と指導法、教材の工夫 ○家庭学習の手引きの活用 ○学習端末の活用	○基礎学力の定着を図るため、児童一人一人の評価を適切に行い、授業改善につなげるとともに、個に応じた指導の充実を図る。 ○家庭学習の在り方を見直し、児童が主体的に学習に取り組む態度を育成するため、宿題や課題の出し方を工夫改善する。	○学力の定着度を客観的に測定し、適切な評価を実施する。 ○宿題や家庭学習の提示の仕方を工夫し、自ら学習に取り組む態度を育成する。	4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 児童及び保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 児童及び保護者の肯定的回答70%以上
豊かな心の育成	基本的な生活習慣の確立と社会性・道徳性の育成 ・児童の人格の尊重と個性の伸長 ・偏見や差別に基づいたいじめの撲滅 ・自己有用感や自尊感情の育成 ・あいさつの徹底 「芝山小のさまり」の浸透 ・コミュニケーション能力の育成 ・異年齢集団の活用	○いじめ防止基本方針に基づく、いじめの未然防止・早期発見と早期対応を図るため、実態調査や研修会を実施し、いじめ防止の充実を図る。 ○児童会によるあいさつ運動を推進するとともに、児童の縦割り班活動の機会を充実する。	○毎学期にふれあいアンケートやふりかえりアンケートを実施し、その分析結果を活用していじめの早期発見に繋げる。 ○毎学期の挨拶運動の実施とふれあい班活動を計画的に実施する。	4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 児童及び保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 児童及び保護者の肯定的回答70%以上
健やかな体の育成	安全で健康的な学校環境の整備と体力・健康の保持・増進 ○防犯・交通安全教育の充実 ○緊急避難体制の確立と避難訓練の充実・改善 ○施設や設備の安全点検と整備の実施 ○「みどりの絆」プロジェクトの推進と芝生の有効活用	○月1回の安全点検・安全指導、避難訓練を実施し、児童の防災意識、教職員の環境整備等の意識を高める。 ○新型コロナウイルス感染症対策への意識を高めるとともに、体育・食育等健康教育への取組みを充実させていく。	○安全点検、安全指導、避難訓練を工夫・改善し、計画的に実施する。 ○学級活動や体育の学習を通して、児童の健康・安全への意識を高め、体力の向上を図る。	4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 児童及び保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 児童及び保護者の肯定的回答70%以上
特別支援教育の充実	特別支援教育及び教育相談の充実 ○特別支援教室の充実と通常学級との連携を強化する ○関係機関との連携を強化する ○OSCの効果的な活用 ○校内委員会を通じた情報の交換	○教職員、保護者、児童への、特別支援教育の理解を深める。 ○校内委員会を定例化し、学級担任と情報交換をするとともに、関係機関と効果的な連携を図る。	○きりり担任と学級担任との連携を強化することによって、個に応じたきめ細かい指導の充実を図る。 ○SCたより、SCと5年生児童全員面接、各相談機関の周知、個人面談の実施等、児童・保護者の相談できる環境を整えていく。	4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 保護者の肯定的回答70%以上
本校の特色	生活科・総合的な学習の時間における授業改善 ○自ら課題を見付け、自ら課題を解決していく児童の育成	○生活科・総合的な学習の時間をはじめ、各教科等でSDGsと関連付けて学習を進める。	○学習端末の活用、学校図書館等の活用を推進し、児童の情報活用力の向上に取り組む。	4 授業でSDGsと関連付けて授業を行った学級が100%	4 児童及び保護者の肯定的回答80%以上
				3 授業でSDGsと関連付けて授業を行った学級が90%	3 児童及び保護者の肯定的回答70%以上
開かれた学校の推進	○各種たより等の充実 ○ホームページの充実 ○メール配信の活用	○学校での教育活動を積極的に発信し、保護者・地域・関係機関との連携を強化していく。	○学校だより、学年だよりの他、学校ホームページ、学級だより、メール配信等で、学校からの情報を発信していく。	2 授業でSDGsと関連付けて授業を行った学級が80%	2 児童及び保護者の肯定的回答60%以上
				1 授業でSDGsと関連付けて授業を行った学級が70%	1 児童及び保護者の肯定的回答60%未満
				4 教職員の自己評価で肯定的回答90%以上	4 保護者の肯定的回答80%以上
				3 教職員の自己評価で肯定的回答80%以上	3 保護者の肯定的回答70%以上
				2 教職員の自己評価で肯定的回答70%以上	2 保護者の肯定的回答60%以上
				1 教職員の自己評価で肯定的回答70%未満	1 保護者の肯定的回答60%未満